

問1 北アメリカ3か国の貿易状況をまとめた統計において、メキシコの貿易の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2015年 兵庫公立入試 類似）

1. 主要な輸出入品はともに電気機械であり、最大の貿易相手国はアメリカ合衆国である。
2. 主要な輸出品は原油であり、輸出先・輸入元ともにカナダが最大の貿易相手国である。
3. 輸出入ともに中国が最大の貿易相手国であり、主要な輸入品は農産物である。
4. 主要な輸出品は自動車のみに限られており、アメリカ合衆国への輸出が9割を超えている。

問2 アメリカ合衆国のグレートプレーンズにおいて、センターピボット方式を用いたかんがい農業の継続が困難になると危惧されている理由について、現地の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 宮崎公立入試 類似）

1. 地下水の再生速度を大幅に上げるペースで、農業用水の過剰なくみ上げが行われているため
2. トウモロコシから大豆への作付け転換により、必要な水の量が急激に減少したため
3. 地球温暖化による降水量の増加で、地下水に塩分が混じり農業に適さなくなったため
4. 最新の節水技術の導入により、地下水をくみ上げるコストが大幅に上昇したため

問3 世界地図の略図において、北極海、太平洋、大西洋に囲まれた北半球の大陸部分を指し、そこにある国々の地理的区分を特定しようとする場合、正しい州の名称はどれですか。（2023年 石川公立入試 類似）

1. 北アメリカ州
2. 南アメリカ州
3. アフリカ州
4. ヨーロッパ州

問4 アメリカ合衆国の発電構成の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. 総発電量が世界最大規模であり、火力発電が全体の約6割を占めている。
2. 総発電量が多いが、原子力発電の割合が約7割と極めて高い。
3. 環境保護政策の推進により、再生可能エネルギーの割合が5割を超えている。
4. 豊富な水資源と地形を利用した水力発電が、全体の過半数を占めている。

問5 メキシコの文化や歴史的背景について述べた次の説明のうち、産業と歴史の関わりを踏まえたものとして最も適切なものはどれか。（2023年 滋賀公立入試 類似）

1. 16世紀にスペインの植民地となり、銀の採掘が盛んに行われた歴史から、現在も世界有数の銀の産出国であり、キリスト教徒の割合が高い。
2. 広大な熱帯雨林を活用したコーヒー栽培が盛んで、かつてポルトガルの植民地であった影響から、現在もポルトガル語が話されている。
3. 南半球に位置し、かつてイギリスの植民地であったため、キリスト教の中でもプロテスタントを信仰する住民が圧倒的に多い。
4. アジアと北米を結ぶ中継貿易で発展し、スペインの統治時代に導入された稲作技術により、現在は世界有数の米の輸出国となっている。

問6 2020年におけるG7（主要7か国）の統計資料において、人口が約3.3億人、国土面積が約983万平方キロメートル、国内総生産（GDP）が約20.8兆ドルという、いずれの項目でもG7の中で最大の値を示している国として正しいものを次から選びなさい。（2024年 広島公立入試 類似）

1. アメリカ合衆国
2. カナダ
3. ドイツ
4. イギリス

問7 アメリカ合衆国では、広大な国土の自然条件を最大限に活用し、それぞれの地域の気候や土壌に最も適した農産物を大規模に生産する農業の仕組みがとられています。このような、自然環境に合わせて特定の作物を栽培・飼育する方法を何といいますか。（2022年 佐賀公立入試 類似）

1. 適地適作
2. 二毛作
3. 自給的農業
4. 近郊農業

問8 世界を六つの大きな地域に区分する「六大州」という考え方において、北半球に位置し、広大な国土を持つアメリカ合衆国やカナダなどの国々が含まれる州の名称を次から選びなさい。（2023年 石川公立入試 類似）

1. 北アメリカ州
2. 南アメリカ州
3. オセアニア州
4. ユーラシア州

問9 アメリカ合衆国の北緯37度以南に広がるサンベルトと呼ばれる地域で、近年、先端技術産業が急速に発展した背景として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 大阪公立入試 類似）

1. 温暖な気候に加えて、広い土地や安価な労働力が確保しやすかったため、多くの企業が進出した。
2. 五大湖周辺で産出される鉄鉱石や石炭を背景に、大規模な重化学工業の集積が進んだため。
3. 北東部の古い工業地帯よりも冬の寒さが厳しく、エネルギー需要に応えるためのインフラ開発が行われたため。
4. 広大な草原地帯を利用した企業的小麦栽培と、それを加工する食品産業が中心となって成長したため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 主要な輸出入品はともに電気機械であり、最大の貿易相手国はアメリカ合衆国である。	メキシコの貿易は、地理的に隣接するアメリカ合衆国との結びつきが非常に強いことが最大の特徴です。2011年時点の統計でも、輸出先・輸入元の両方でアメリカ合衆国が第1位となっています。また、産業の発展に伴い、輸出入品目において電気機械が主要な項目を占めるようになっていきました。カナダの主要輸出品が原油である点や、アメリカ合衆国の最大の輸入相手国が中国である点など、近隣諸国のデータと混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 1 地下水の再生速度を大幅に上回るペースで、農業用水の過剰なくみ上げが行われているため	グレートプレーンズの農業を支えるオガララ帯水層の地下水は、長い年月をかけて蓄えられたものであり、雨水などが地下に浸透して補充される量には限りがあります。センターピボット方式によって大規模にかんがいを行う際、この補充されるスピードをはるかに上回るペースでくみ上げを続けているため、持続的な水利用が難しくなっています。この「再生速度と利用速度のミスマッチ」が、地下水位の著しい低下を招いている根本的な原因です。
問3	答え 1 北アメリカ州	世界地図上で北半球の西側に位置するこの範囲は、北アメリカ大陸を中心とした北アメリカ州に該当します。南側はパナマ地峡（パナマ運河付近）を境に南アメリカ州と接しており、混同を避けるために位置関係を正確に把握する必要があります。
問4	答え 1 総発電量が世界最大規模であり、火力発電が全体の約6割を占めている。	広大な国土と豊富な地下資源を持つアメリカでは、石炭や天然ガスをを用いた火力発電が主要な電源となっている。他の選択肢について、原子力発電の割合が極めて高いのはフランス、再生可能エネルギーの割合が高いのはドイツなどのヨーロッパ諸国、水力発電が過半数を占めるのはカナダやブラジルなどの特徴である。
問5	答え 1 16世紀にスペインの植民地となり、銀の採掘が盛んに行われた歴史から、現在も世界有数の銀の産出国であり、キリスト教徒の割合が高い。	メキシコは北米に位置し、アステカ帝国がスペインによって征服されて以降、植民地として支配された歴史を持ちます。この時期に銀山が開発され、本国スペインへ大量の銀が運ばれました。この歴史的な経緯が、現在の銀の生産量や、宗教・言語といった文化的な特色に直接つながっています。ブラジル（ポルトガル領）やイギリス領の歴史を持つ国々とは、言語や宗教の広まり方が異なります。
問6	答え 1 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は、北アメリカ大陸に位置し、G7（主要7か国）の中で最大の人口、面積、そして世界最大の国内総生産（GDP）を誇る国家です。広大な国土面積と豊富な資源に加え、先進国の中では人口規模が非常に大きく、強力な経済基盤を持っています。選択肢にあるカナダは、面積はアメリカに近いものの、人口やGDPの規模はアメリカに比べて小さくなります。また、ロシアは面積が世界最大ですが、現在はG7のメンバーではありません。
問7	答え 1 適地適作	アメリカ合衆国では、各地域の気候、地形、土壌などの自然条件を分析し、その土地で最も効率よく収益が得られる農産物を集中的に生産しています。この仕組みを「適地適作」と呼び、広大な土地と機械化を組み合わせることで、世界有数の農業生産量を実現しています。
問8	答え 1 北アメリカ州	世界を六大州（アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、オセアニア）に分ける際、北半球に位置し、北アメリカ大陸を中心とする地域を北アメリカ州と呼びます。この州にはアメリカ合衆国やカナダ、メキシコなどが含まれます。
問9	答え 1 温暖な気候に加えて、広い土地や安価な労働力が確保しやすかったため、多くの企業が進出した。	1970年代以降、アメリカでは産業構造の変化が起こりました。北東部の古い工業地域（製造業地帯）から、税制上の優遇措置や低い労働コスト、そして生活しやすい温暖な環境を求めて、多くのIT企業や航空宇宙産業が南部のサンベルトへと拠点を移したことが発展の主な要因です。